

えみちゃんレポート No22

茨城県政報告

2017年 秋冬号



茨城県議会議員 設楽詠美子(しだらえみこ)

住所 筑西市二本成993
電話 24-9119
FAX 48-8022

筑波山の木々が色づき、新しい季節の訪れを感じていることと存じます。

知事選挙、衆議院選挙が続き、多くの皆様にお支えいただきましたことに、心から感謝を申し上げます。

今年11月26日(日)に開催されるつくばマラソンに挑戦します。今後の筑西マラソンに生かせるよう、コース選定を含め、学びながら走りしたいと思います。一人一人の健康を願いながら走ります。



保健福祉委員会で活動中

1. 西部メディカルセンターの医師確保について

【設楽】茨城県として、西部メディカルセンターの医師確保について、どのように支援を考えておりますか？

《医療政策課 課長》

茨城県は、筑西市と一緒に行っていきます。

【設楽】一緒に、とは具体的にどのように医師確保を実施する予定ですか？

《医療政策課 課長》

水戸協同病院をモデルに、**地域医療教育センターを設置し、筑波大学と自治医大から学生や研修医が学ぶことができる仕組みを作ります。**



2. むし歯には市町村間格差！～むし歯の多い筑西市

【設楽】茨城県の各地町村には、12歳児のDMFT（虫歯、喪失歯、治療歯）を指標として考えたときに**筑西市は1.56でワースト5位と虫歯が多く、茨城町は0.51と少なく市町村間格差があります。**

《保健予防課 課長》どうすべきか、今後検討をしていかななくてはならないと考えます。フッ素洗口がむし歯予防に良いと、厚生労働省から平成15年に通達があり、**筑西市においても実施が可能です。**

【設楽】国内では、茨城県と神奈川県、石川県のみが小学校でのフッ素洗口を実施していない状況です。**しかし教職員組合では学校へのフッ素の持ち込みを不適としているため、クリニックでのむし歯予防対策が求められています。**まずは受け入れていただける保育園からスタートし、クリニックでのむし歯予防の茨城モデルをつくりたいと考えます。

*フッ素洗口は、安価で容易にむし歯を予防できる方法であり、私がカンボジアでの学校保健を始めるときに導入した経験があります。

3. 子ども食堂のガイドラインが必要

【設楽】茨城県では子ども食堂が6月の20か所から、わずか4か月間に30か所と増加しております。**食の安心と安全を考える上でガイドラインを作成し、届け出をするようにすべきと考えます。**以前、筑西市の子ども食堂に対して、営業の許可を求められたとの相談がありました。**子ども食堂はボランティアで営利を目的としていないために、基本的には届け出ですむようにするべきと考えます。**

《食の安全対策室 室長》

食品衛生に関するガイドラインは必要のため、作成する方向で考えます。

子ども食堂の定義がないことから、届け出か、営業にするかは個別に対応することにしたいが、基本は届け出とすることを検討します。

《子ども家庭課》

他県では子ども食堂に対して補助をしているところもあるので、今後検討していきたいと思っております



4. がんになっても働き続けられる茨城県

～地域からの声をもとに～

【設楽】「卵巣がん、子宮がんになり、治療をしながら職場に出かけています。体もしんどく、十分に仕事もできないのですが、**職場からは「そんな状況では辞めたら」**などと言われてしまい、悩んでいます。子育てをしながら、がんの治療をして、仕事もしているので、精神的にもうつ状態が続いており・・・」と、地域の方から相談がありました。**茨城県での具体的な対応はどのようになっていますか。**

《がん対策推進室 室長》

個々の事業所への働きかけの仕組みはないのですが、茨城県では**「茨城県がん検診を推進し、がんとうき合うための県民参診条例」**があり、事業者は働きながら治療できる環境づくりをすることを目指しています。「参養」は、本条例のなかで初めて定義した新しい言葉です。「参養」とは「県民自らが、がん治療に主体的に参画すること」を表します。がんを正しく理解し、自分で考え話し合うようにして、働き続けられるように協力しましょう。

茨城県がん検診を推進し、
がんとうき合うための
県民参診条例

平成27年12月18日 公布・施行

茨城県



地域の皆さんの声を形に・・・県西運動公園に軽食施設の設置を

県西運動公園を利用する団体の皆様と、筑西土木事務所並びに、管理委託者である筑西広域市町村圏事務組合に要望並びに意見交換会を実施しました。

まずは**軽食のできる自動販売機の設置**を行い、西部メディカルセンターの動向や道の駅との連携を踏まえて、具体的な軽食施設のデザインを考えていく予定です。

私は「健康を考え、地産地消に力を入れた軽食施設」を目指せるよう夢を描いています。

